

公民科における実践授業

愛知県立津島東高等学校
教諭 森岡 剛洋

はじめに

公民科の「政治・経済」では消費者問題の単元項目があり、消費者を保護する法制、公害、行政・企業の責任、そして情報格差やメディアリテラシーなど多くの題材がある。

では、公民科の「倫理」の授業で消費者教育をどのように行えるのか。倫理の科目の特性を生かして、政治・経済で行う消費者教育とは違った切り口で授業を行うことを考えた。それは、シチズンシップや主権者教育と土台を同じくするもので、主体性や実践的な能力、自ら参画し協働する能力を養うことに主眼をおいた授業である。そこから、ひとりひとりが「消費者市民社会」を形成する一員であることを自覚させたいと考えた。

1 題材

「情報社会における消費者市民社会の一員を自覚する」 第3学年 倫理 2単位

2 ねらい

- ・最近のニュースから複数の視点で物事を捉えて発表させる。
- ・「ポケモンGO」を例に自分が社会とどう関わっていくか具体的に考えさせる。
- ・自らの言動がよりよい社会を形成することにつながることを自覚させる。

3 授業計画及び取り組み

(1) 授業計画（1時間完了）

現代の倫理的課題 情報社会

(2) 授業概要

所要時間 50分

教材 プロジェクター、新聞記事、ワークシート

(3) 授業展開

運転中に「ポケモンGO」をしていて死亡事故が起きた記事を紹介する。

そこに載っている「ポケモンGOは利用者のモラルだけでは限界だから制限をするべきだ」という意見に対して、どうしたらいいか自分なりの問題提起をしてもらう。

3～4人グループで話し合った結果、大きく分けると意見は3点だった。

意見A

「ポケモンGOが悪いわけではない。利用者のモラルの問題である」

「包丁で人を殺したからといって包丁について規制はしない」

意見B

「しかし、死亡事故が起きている。問題を放置したままでいいのか」

意見C

「社会をよくする可能性のある新しい技術を放置したままになっている」

「社会の問題と向き合い、考えを深めることが社会をよくしていく第一歩である」



次に、全員どちらかに挙手で意思表示をしてもらう。

質問1 A ポケモンGOは何らかの機能制限をした方がいい
 B ポケモンGOだけ規制するのはおかしい

結果

	5組	6組	7組
A	17	20	6
B	13	12	30

さらに、次の二つの質問を続けて、グループで話し合い意見を交換する。

質問2 誰を、何を、どのように規制するのか、具体的に挙げてみよう。

生徒の意見
 誰を・・・(多数順) ①ドライバー ②ゲームの運営会社 ③スマホ会社 ④自動車会社
 何を・・・①罰金を増やす、免許停止など厳罰にする
 ②ゲーム配信中止、一定のスピードが出たらゲームができないようにする
 ③運転中はスマホそのものが反応しないようにする
 ④運転中にスマホを触るとわかるセンサーを車につける

など、たくさん自由な発想の意見が出た。

質問3 規制以外の方法はあるか。

生徒の意見

- ・ポケモンスマホ専用道路をつくる
- ・違反者を見つけたら何かもらえる制度にする
- ・スマホと自動車を連動させて、運転中は自動でOFFになるようにする
- ・危険を回避する自動車をつくる
- ・事故の心配のないゲームを新しく開発する

理系クラスらしい創造的意見が出た。

最後に、再び同じ質問をしてその変化を見てみた。

質問4 A ポケモンGOは何らかの機能制限をした方がいい
B ポケモンGOだけ規制するのはおかしい

結果

	5組	6組	7組
A	13	4	19
B	17	22	15

どのクラスもABが逆転して意見が変わった。はじめから多数意見はクラスで違った。しかし話し合い、自分の意見をと相手の意見を交換する中で熟慮して、自分の意見が深まったと言える。

また、新聞やテレビなどメディアから受け取るニュースは、時にセンセーショナルな見出しで、感情に訴えるものが少なくないことは否めない。しかし、社会をよりよくするためにはどうすればいいか、という視点で取り組むことで、感情的になったり主観的すぎるのが抑制され、冷静で多面的な思考をすることができた。

5 成果

- ・身近でタイムリーな話題を通して、自分が社会とどう関わるか考えることができた。
- ・授業の始めと終わりで意見が変化することを体験できた。それは自分の意見が深まり視野が広がったと言える。
- ・被害者にならないための消費者教育から、よりよい社会を形成していく消費者市民教育の可能性を得ることができた。

6 おわりに

消費者問題は環境問題、国際問題、少子高齢社会、その他、生きていくことすべてに関わってつながっている。どの分野を学ぶ場合も、自分が社会にどう関わっていくか、さらによりよい社会を形成していくにはどうするか、という視点をもつことが必要不可欠である。